

合同読書会を対面で実施！

－成瀬高校図書委員会 & 小川高校図書委員会－

成瀬高校図書委員会は、3月17日（金）の放課後に、小川高校を訪問し、同校図書委員会と第5回目となる合同読書会を行いました。

課題図書は、小川高校図書委員会が選定した『世界から猫が消えたなら』（川村 元気著）、参加生徒は成瀬高校が12名、小川高校が13名でした。

開会の挨拶、両校の委員会の活動報告、小川高校の図書館や校内の見学の後、休憩を挟んで、読書会を開始しました。くじ引きによる班分けで、A～Dの4班ごとに司会、記録など役割分担した上で意見交換を行い、最後に各班で話し合った内容を発表して共有しました。全体の司会は、両校の委員長が交替で行い、スムーズに進行しました。



対面の読書会は初めてという生徒も多く、最初は緊張した様子も見られましたが、だんだん打ち解けて、活発な話し声が聞こえるようになりました。

終了後の生徒の感想からは、「思った以上に会話が弾み、とても楽しかった」「ワークシートの内容だけでなく、本の内容で気になったことについても話すことができ嬉しかった。」「同じ本を読んでもここまで見方が違うんだなと改めて気づかされた」等の声が上がりました。笑顔も見られるようになりました。最後は両校の先生による講評で締めました。

温かく迎えてくださった小川高校図書委員会のみなさん、おかげさまで素敵な「交流」ができました。準備に奔走してくださった司書のMさん、Oさん、ありがとうございました。来年度は本校図書館でお待ちしています。（司書 池田）